

平成 28 年度宍道湖水環境改善協議会 定期総会

— 次 第 —

日 時 平成 28 年 7 月 7 日(木) 10:00～11:30
場 所 島根県市町村振興センター6 階大会議室

1 開 会

2 議 事

- | | | | |
|-------|---------------------|----|-----|
| 第 1 号 | 平成 27 年度事業報告について | p. | 1 |
| 第 2 号 | 平成 27 年度決算報告について | p. | 7 |
| 第 3 号 | 平成 28 年度事業計画（案）について | p. | 8 |
| 第 4 号 | 平成 28 年度予算（案）について | p. | 1 2 |
| 第 5 号 | 役員改選について | p. | 1 3 |

3 報告事項

【資料編】 p.33～45

- 1) 水質測定結果及び水質浄化対策進捗状況について
(島根県環境政策課) p.33
- 2) 汽水湖汚濁メカニズム解明調査ワーキング進捗状況について
(島根県環境政策課) p.39
- 3) アオコ対策について
(国交省出雲河川事務所) p.40
〃 (島根県環境政策課) p.41
- 4) 浅場造成の取り組みについて
(国交省出雲河川事務所) p.42
- 5) 「水産多面的機能発揮対策事業」を活用した取り組みについて
(島根県水産課) p.45
〃 (宍道湖漁業協同組合) p.46
- 6) 「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる
流域づくり検討協議会」について
(国交省出雲河川事務所) p.48

4 意見交換

5 閉 会

平成27年度 事業報告

負担金事業

宍道湖境界確定に伴い松江市・出雲市へ面積加算された交付税の一部を負担金として協議会へ拠出し、住民との協働による水環境保全活動や環境教育事業を実施するもの。

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p.1～2】

6月の環境月間の行事として、中海・宍道湖沿岸の住民・事業所・自治体等が一斉清掃活動を行い、沿岸地域の美化活動と環境意識の向上を図るもの。宍道湖は平成7年から実施しており、平成27年度は21回目であった。

実施日	平成27年6月14日（日）
対象区域	松江市・出雲市
参加者	宍道湖112団体4,849人（全体8,050人）住民、企業、団体等
ごみの量	宍道湖8.23t（全体15.11t）

2. ヨシ関連事業 【資料編 p.3～12】

ヨシは、定期的に刈り取り湖外へ搬出することで湖水への栄養塩類の再溶出を防ぎ、新芽の更新による生育・植生拡大が促進される。主にボランティアを募集し刈り取り作業を行うことで、ヨシ植生についての意識啓発につなげた。刈り取ったヨシについては、製紙材料や草抑え材料とする試みに活用した。

また、ヨシ刈り取り作業や紙すきが体験できるイベントを開催し意識啓発に努めた。

〔ヨシ刈り取り事業〕 p.3～6

実施日	平成27年12月2日、平成28年2月24日、3月5日、3月20日
実施場所	「湖遊館」付近湖岸（出雲市園町）、「宍道湖西岸なぎさ公園」（出雲市斐川町坂田）、忌部川河口付近湖岸（松江市乃木福富町）
参加人数	延べ307人

刈り取り面積 合計 5,300 m²

〔ヨシ紙製作の試み〕 p. 7

実施内容 宍道湖岸で刈り取ったヨシを、専門業者に委託し手すき用パ
ルプとヨシ紙に加工した。

製作量 菊版薄口紙：3,000枚、A3厚口紙：8,280枚
手すき用パルプ：約8kg

〔草抑えとして活用する試み〕 p. 8～10

実施内容 穂を除去したヨシを機械で細かく裁断しチップ化したものを
畑・花壇に敷くことで雑草の繁茂を抑制する試みを行った。

実施期間 平成27年2月～9月

実施協力者 島根県農業技術センター、出雲市立平田幼稚園、鳶巣コミュ
ニティセンター、出西コミュニティセンター、一般（1名）

〔ヨシに関する体験型学習会の開催〕 p. 11～12

「ヨシ刈り取り体験と環境学習会」

日時：平成28年3月20日（日）

場所：忌部川河口付近（松江市乃木福富町）

参加人数：21名

「紙すき体験教室」

日時：平成28年3月30日（水）

場所：斐川環境学習センター（出雲市斐川町出西）

参加人数：47名

3. 環境関連啓発事業 【資料編 p.13～14】

「宍道湖湖沼環境モニター」や県外からの視察グループに対して宍道湖の水環
境に係る学習会を行った。また、年間をとおして協議会ウェブサイトにて環境
学習やイベントについての情報発信することで協議会事業の周知や意識啓発に
つなげた。

〔宍道湖湖沼環境モニター対象学習会〕 p. 13

実施日 平成 27 年 10 月 20 日（火）

実施場所 松江イングリッシュガーデン多目的ホール及び湖岸親水ゾーン

参加人数 22 人

〔佐賀市視察グループ対象学習会〕 p. 13

実施日 平成 27 年 8 月 8 日（土）

実施場所 島根県立青少年の家サン・レイク

研修内容 佐賀市「干潟の環境保全活動リーダー育成視察研修」に対して宍道湖に係る学習会を実施

参加者 小学生 16 名、中学生 7 名、大人 20 名

〔親水イベントへの参加〕 p. 14

参加実績 平成 27 年 8 月 22 日（土）出雲縁結び空港夏まつり土曜夜市
平成 27 年 11 月 23 日（月・祝）ラムサールフェア

4. 斐伊川水系の上下流交流事業 【資料編 p.15～17】

松江市と出雲市の住民が斐伊川上流部を訪問し、雲南市・奥出雲町住民との交流会や施設見学を行い相互理解を深めた。また、大規模イベントに上下流一体となって参加し斐伊川水系全体についての周知と意識啓発活動を行った。

〔上流部訪問・交流会の取り組み〕 p. 15～16

実施日 平成 27 年 11 月 29 日（日）奥出雲町及び雲南市を訪問
平成 27 年 12 月 6 日（日）雲南市を訪問

参加人数 松江市住民 33 人、出雲市住民 39 人（二日間合計）

〔イベント参加による啓発の取り組み〕 p. 17

実施内容 しらかた広場夏祭り（水郷祭と同時開催）に斐伊川上流部飲食店等と連携して参加し、当協議会の活動や斐伊川水系全般について PR した。

実施日 平成 27 年 8 月 1 日（土）、8 月 2 日（日）

5. ラムサール条約登録 10 周年記念事業 【資料編 p.18～20】

宍道湖が平成 17 年 11 月にラムサール条約湿地に登録されてから 10 年を迎えることを記念し、宍道湖水環境改善についての意識啓発につながるトークイベントを開催した。

開 催 日	平成 27 年 11 月 23 日（月・祝）
場 所	くにびきメッセ 小ホール
実 施 内 容	「本当の宍道湖をみなさんに伝えたい ―ラムサール条約登録 10 周年を契機とした効果的な情報発信―」と題し、トークセッション形式のイベントを開催した。
出 演 者	フリーアナウンサー 永井 美奈子 氏 山陰中央新報社論説委員長 高尾 雅裕 氏 ローカルジャーナリスト 田中 輝美 氏 宍道湖漁業協同組合参事 高橋 正治 氏
来 場 者 数	約 150 人

連携事業

水環境改善に関する様々な課題を協議会において検討し、その課題解決にあたって国・県・市が適宜連携をとり、それぞれの役割に応じた事業を実施するもの。

1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p.21】

宍道湖の水質改善及び自然湖岸化、生態系の再生など湖の自然浄化機能の回復を目的として行われる浅場造成にあわせ、松江イングリッシュガーデン湖岸に親水ゾーンを整備した。

平成 27 年 4 月 28 日にはオープニング式典を開催し、親水ゾーンの紹介と周知に努めた。また、事業説明と親水ゾーン誘導を兼ねた看板を松江イングリッシュガーデン内に設置し、広く活用を呼び掛けた。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所（浅場造成）、松江市（親水ゾーン整備、式典開催、看板設置）
事業箇所	松江イングリッシュガーデン湖岸（松江市西浜佐陀町） 他

2. 覆砂事業 【資料編 p.22～24】

宍道湖のシジミ資源の回復を図るため、稚貝の着底場や産卵母貝の生息場の拡大に効果が期待される覆砂を実施し、その結果や継続期間等を検証し覆砂事業の有効性を検討。

平成 27 年度はこれまでに覆砂を実施した箇所におけるモニタリングを実施し、覆砂区におけるシジミの動向、覆砂の持続性を調査。

事業主体	島根県
調査箇所	平成 24 年度覆砂 西岸（出雲市斐川町空港北沖） 平成 25 年度覆砂 北岸（松江市秋鹿沖）、南岸（松江市宍道町来待沖）

3. 水草対策 【資料編 p.25～27】

近年、繁茂が拡大傾向にある水草について、「宍道湖に係る水草対策会議」により国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。平成 27 年度の会議で

は、水草繁茂状況について情報共有するとともに、平成 27 年度の調査計画や取り組みについて意見交換を行った。

事業主体	島根県
調査実績	分布・現存量調査、糸状藻類（シオグサ）の分布・シジミへの影響調査
調査時期	平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月

平成27年度 宍道湖水環境改善協議会 決算書

【歳入】

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備考
1 負担金	3,056,000	3,056,000	0	(面積割り積算) 3,056,000 松江市 2,203,000 出雲市 853,000
2 繰越金	1,734,304	1,734,304	0	
3 諸収入	696	413	△ 283	預金利息
合計	4,791,000	4,790,717	△ 283	

【歳出】

費目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備考
1 会議費	50,000	48,107	△ 1,893	会場使用料等
2 事務費	50,000	35,027	△ 14,973	振込手数料等
3 事業費	4,641,000	4,516,958	△ 124,042	
1 中海・宍道湖一斉清掃	330,000	315,888	△ 14,112	ごみ収集運搬委託料292千円 等
2 ヨシ関連事業	1,680,000	1,619,138	△ 60,862	ヨシ紙製作委託650千円、ヨシ運搬費141千円、 体験型学習会開催委託200千円 等
3 環境関連啓発事業	515,000	610,566	95,566	宍水協ウェブサイト保守委託料233千円、スタッ フポロシャツ購入126千円、機能拡張委託124千 円、缶バッジマシン購入(二台)119千円 等
4 斐伊川水系の上下流交	516,000	357,791	△ 158,209	バス借上料233千円 等
5 ラムサール条約登録 10周年 記念事業	1,600,000	1,613,575	13,575	催事業務委託1,080千円、イベント運営委託296 千円、謝金(三人)110千円 等
4 予備費	50,000	0	△ 50,000	
合計	4,791,000	4,600,092	△ 190,908	

歳入合計	4,790,717
歳出合計	4,600,092
差額	190,625 (次年度繰越額)

平成27年度 会計監査報告

本決算書は、証拠書類と照合の結果、適正であることを認める。

平成 28年 5月 26日

監事 島根県 環境生活部長

犬丸 淳

【議案 第3号】

平成 28 年度 事業計画 (案)

負担金事業

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p.28～29】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、平成28年度で22回目となる。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日	平成28年6月12日(日)
対象区域	松江市・出雲市
参加者	宍道湖 115団体5,003人(全体8,134人)住民、企業、団体等
ごみの量	宍道湖 8.84t(全体18.08t)

2. ヨシ関連事業 【資料編 p.30】

宍道湖の水質保全のためには、リンや窒素を吸収したヨシを定期的に刈り取って湖外に搬出するなど、ヨシ帯の適正な管理が必要である。引き続き刈り取り事業の実施と刈り取ったヨシの利活用事業に取り組む。また、平成27年度事業によって得られたヨシ紙や草抑えの活用を検討する。

[ヨシ刈り取り事業]

実施時期	平成28年11月～平成29年3月末
実施場所	「宍道湖西岸なぎさ公園」湖岸(出雲市斐川町坂田) 「フォーゲルパーク」付近湖岸(松江市秋鹿町) 予定

[ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの活用]

実施内容	ヨシ植栽イベント参加小中学校への提供、紙すき体験教室の拡大実施、養護学校等での作業学習に活用 等
------	--

実施期間 平成28年8月～平成29年3月

[草抑えとしての活用]

実施内容 草抑えとしての試験的な活用について協力可能な団体・個人を募り、その成果をとりまとめる。

実施期間 平成28年12月～平成29年3月

3. 環境関連啓発事業

楽しみながら宍道湖に親しむことのできる仕組みづくりとして、湖水に直接触れ合うようなイベント・学習会を開催する。

[親水イベント・学習会の取り組み]

開催場所 松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン 等

対象 幼稚園児、小・中学生

[既存イベント参加の取り組み]

参加予定 宍道湖岸で開催される親水または環境保全に係る催し

参加内容 パネル展示、啓発グッズやチラシの配布 等

4. 斐伊川水系の上下流交流事業

斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることで、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の機運を高める。引き続き、上流部団体と協働でのイベント参加などを通して斐伊川水系やその流域連携についての啓発をはかる。

実施時期 平成28年8月～12月

内容 斐伊川水系全体の水質改善について意識啓発を図る催し

1. 砂浜再生プロジェクト

「松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン」の整備については完了し、平成 28 年度においては「湖沼環境モニター」による評価を得ながら、流域住民への効果的な周知と利用促進を展開する。また、このほかに将来的な候補地の可能性を調査していく。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）
事業箇所	松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町） 他

2. 覆砂事業 【資料編 p.31】

シジミ資源回復実証事業は平成 26 年度で終了したため、水産技術センターが実施しているヤマトシジミモニタリング調査の中で、覆砂試験区の効果の持続性を調査する予定。

事業主体	島根県
調査箇所	平成 24 年度覆砂 西岸(出雲市斐川町空港北沖) 平成 25 年度覆砂 北岸(松江市秋鹿沖)、南岸(松江市宍道町来待沖)

3. 水草対策 【資料編 p.32】

宍道湖に係る水草の大量繁茂における対策については、国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。平成 28 年度も水草の繁茂状況について情報共有するとともに、当年度の調査計画や取り組みについて検討を行う。

[平成 28 年度調査計画]

事業主体 島根県

調査計画 水草の分布・現存量調査

糸状藻類（シオグサ）の分布・シジミへの影響調査

調査時期 平成 28 年 5 月～11 月（予定）

[平成 28 年度の取り組み（課題と対策）]

課 題

- ①漁業への障害（漁船の航行に支障、シオグサがシジミに被さり斃死）
- ②河川管理上の障害（巡視船等の航行障害）
- ③臭気の発生（漂着した水草・藻類の腐敗による悪臭）
- ④実施者毎（国、漁協）に刈り取り時期が異なる
- ⑤刈り取った水草の処分（処分費用）

H28 対策

- ①「水産多面的機能発揮対策」（水産庁）の活用により漁業者による除去（県）漁協への藻刈船の貸し出し（松江市）
- ②河川管理上支障となる箇所での刈り取り（国）
- ③河川管理施設に漂着した水草及び吹き寄せられた水面上の水草については塵芥処理として対応（国）
- ④刈り取り時期、回収量などの情報共有
- ⑤水草の利用に関して有効な情報があれば関係者間で共有（国）

【議案 第4号】

平成28年度 宍道湖水環境改善協議会 予算書（案）

【歳入】

(単位：円)

費目	H28予算額(A)	H27予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
1 負担金	2,782,000	3,056,000	△ 274,000	(面積割り積算) 松江市 2,002,000 出雲市 780,000
2 繰越金	190,625	1,734,304	△ 1,543,679	
3 諸収入	375	696	△ 321	
合計	2,973,000	4,791,000	△ 1,818,000	

【歳出】

費目	H28予算額(A)	H27予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
1 会議費	30,000	50,000	△ 20,000	総会、幹事会、担当者会議
2 事務費	50,000	50,000	0	事務消耗品、郵送料、振込手数料等
3 事業費	2,843,000	4,641,000	△ 1,798,000	
1 中海・宍道湖一斉清掃	330,000	330,000	0	ゴミ運搬委託料 等
2 ヨシ関連事業	1,250,000	1,680,000	△ 430,000	ヨシ運搬料、製紙委託料 等
3 環境関連啓発事業	828,000	515,000	313,000	ウェブサイト保守委託料、イベント運営委託料 等
4 斐伊川水系の上下流交流事業	435,000	516,000	△ 81,000	イベント参加負担金、会場費 等
5 ラムサール条約登録10周年記念事業	0	1,600,000	△ 1,600,000	
4 予備費	50,000	50,000	0	
合計	2,973,000	4,791,000	△ 1,818,000	

宍道湖水環境改善協議会 役員の改選について

会 長

松江市長 松 浦 正 敬

副会長

出雲市長 長 岡 秀 人

監 事

島根県環境生活部長 犬 丸 淳

〔 任 期 〕

平成28年7月19日 から 平成30年7月18日 まで